

2010年7月29日  
東京ガス株式会社

2011年3月期 第1四半期決算説明会 主なQ&A

- Q1：第1四半期にガス販売量が上振れしているにもかかわらず、通期見通しを据え置いた理由は。
- A1：第1四半期においては、春先の低気温による給湯需要増等によりガス販売量が対計画で上回っているものの、昨今の高気温の影響等を勘案し、上期・通期のガス販売量・利益見通しについては当初計画を据え置くこととした。
- Q2：工業用ガス販売量の今後の見通しは。
- A2：第1四半期においては、工業用ガス販売量はほぼ計画通りで進捗している。業種別には、化学・鉄鋼・非鉄金属等の分野で順調に回復しているものの、食料・紙パルプでは回復に遅れがあるなどの跛行性が見られる。今期の計画については、個々のお客さまの需要想定を積み上げて策定しているが、多くのお客さまが先行きの景況感について慎重な見方を示しており、そうした見方を反映したものとなっている。
- Q3：扇島パワーが新規連結され、収支上どのような影響を与えているか。
- A3：扇島パワー1号機が3月に営業運転を開始し、7月には2号機も計画通り営業運転を開始した。本第1四半期においては、扇島パワーを含む電力セグメントでは営業赤字となったものの、主として一時的な期ズレ等の影響によるもの。電力セグメント全体では、通期では当初計画どおりの営業利益を見込んでいる。
- Q4：エネファームの取組みの現況は。
- A4：2011年3月期は2,500台という販売目標を掲げており、すでに約1,300台のご契約をいただいているなど、目標達成に向けて順調に推移している。2013年度に投入予定の次世代機種開発についても鋭意取組みを進めている。

以上